



11

2019/NOV  
誠美保育園

### 冬が来る前に

毎年恒例、冬芝の種まきによる芝生の養生が終了。園庭オープンに合わせ、青空のもとで、秋の味覚を楽しもうと収穫祭を企画したのですが、当日は、あいにくの雨模様。あんなに晴天が続いていたのに、月末の予報はなぜだかスッキリしない空模様が続くようです。

仕方がないので、ホールにコンロやホットプレートを並べて、秋の恵に火を通していくと、少し焦げたような匂いをまといながら、秋刀魚、きのこ、柿、秋の香りが、部屋から部屋へと広がっていきましました。食欲もそそるこの香りに、ゆく秋を惜しみながら…。

食材に限らず、私たちに様々な恵をもたらしてくれたこの秋を振り返った時、印象深い出来事がありました。

それは、お向かいの宮上小学校の先生方が、保育の様子を見学に来てくれて、私の案内に興味深く耳を傾けてくれたことです。



八王子市には、「八王子市保幼小子育て連絡協議会」という、就学前後の教育・保育機関（保育園、幼稚園、学童保育所、小学校等）によるネットワーク組織があります。そして、近隣の学校とチームを組み（宮上小&多摩なかよし幼稚園&誠美保育園）、就学前後の円滑な接続を目指して、教職員の交流や協議を重ねています。

ただ実際には、それぞれが保育や授業を進めながらとなるので、まずは、互いの活動の様子を見合うということひとつとっても、ましてやテーブルを囲む協議の場を調整するとなればなおさら、そこには、かなりの工夫がいることなのです。にもかかわらず、事前に、互いの公開可能な研究保育・研究授業の日程を交

換する中で、来園が実現できたこと、さらには、午後のカンファレンス（実践検討会）にも参加していただいたことは、私にとって、この秋のとても感慨深い、そしてとても感激した出来事でした。

小学校では、来年度の4月から、幼児期の園生活と学校生活をつなぐため、新一年生を対象とした「スタートカリキュラム」という新しい仕組みが導入されます。（先行実施している学校もあるようです。）

これは、「幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ち」の上に編成されるカリキュラムとのこと、そういう意味において、

「ゼロからのスタートではない！」  
がキャッチフレーズ。園側のあり方も問われる、身の引き締まるお言葉です。

そしてこれもひと月ほど前のこと。先の保幼小子育て連絡協議会で、このス



ここでも、遊びや生活体験を土台とした幼児教育・保育のエッセンスを懸命に探りながら、新たなカリキュラム作りにも奮闘されている先生方の姿に、感銘を受けた時間となりました。

社会の、世界の変容を支えるように、はたまた、期待感に溢れた新たな歩を生み出すために、緩やかに、でも確実に何かを変えていく…教育・保育の世界にもその胎動を感じています。

そしてなんと、11月30日（土）午後9時、NHK Eテレ「すくすく子育て

て」で、その横浜市の、保幼小の連携やスタートカリキュラムに取り組み様子が、紹介されると耳にし喜んだ。(http://www.nhk.or.jp/

### もっひとつの恵に

この偶然もまた、この秋が別れ際に恵んでくれた…置き土産なのでしょうか。  
園長 折井誠司

作品展への出品、そして、移動動物園、保護者のみなさんからの秋の恵に…感謝。



●編集 誠美保育園  
●発行人 折井誠司  
●印刷所 誠美保育園  
●発行所 社会福祉法人 誠美福祉会  
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-1-2  
電話 042-6975-1551  
ファックス 042-677-5643  
E-mail sebi@nokuen.jp  
http://nokuen.jp/